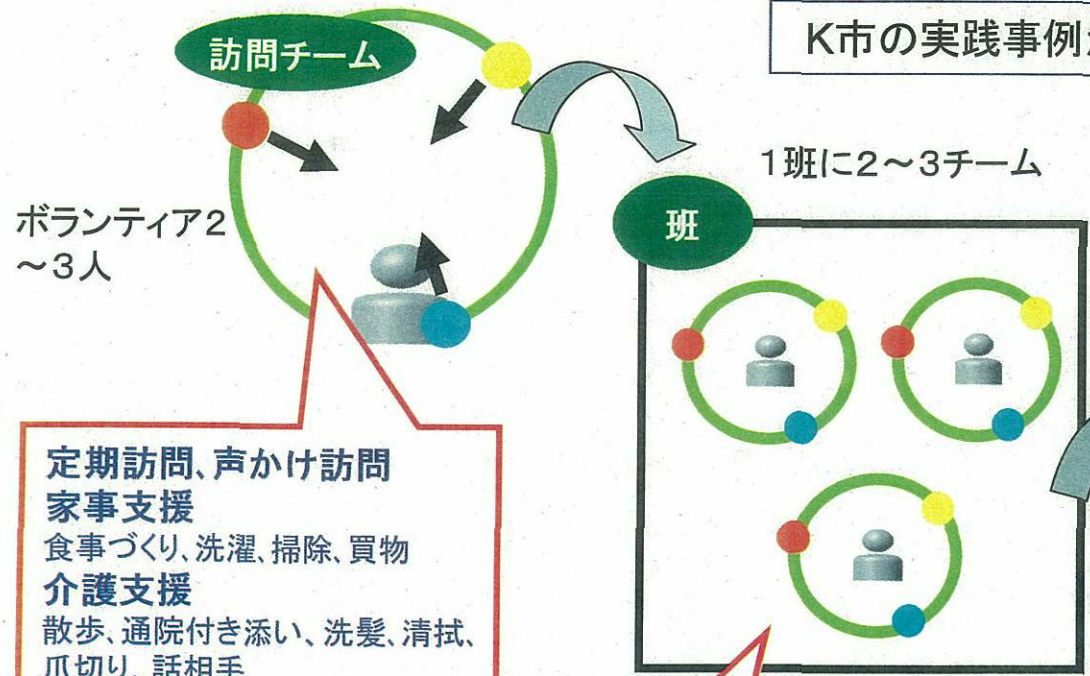


小地域ネットワーク活動とは

1043社協(46.4%)で取り組み
 活動対象 880,529人
 訪問回数618万回/年
 担い手 36万人
 (平成17年4月)

K市の実践事例から



定期訪問、声かけ訪問
家事支援
 食事づくり、洗濯、掃除、買物
介護支援
 散歩、通院付き添い、洗髪、清拭、爪切り、話相手

【利用者のタイプ】
A元気が閉じこもりがち、時々病気になる。夫婦の場合は片方が病気がち【月1~2回の訪問】
B病気がち、身体が弱っている【週1~2回】
C病気がちであると同時に種々の家事・介護等に支障を来している【週3回以上の訪問】

小地域ネットワーク連絡会(訪問チームのボランティアが参加)
 訪問時の高齢者様子の報告、把握。活動状況の報告。
 必要な場合、他サービスとの連携の検討。
 新たに支援を必要とする人の検討、ネットの組み方の検討

校区定例会議(班長、民生委員、地区社協役員、市社協職員、必要に応じて関係機関専門職)
 月1回開催
 訪問記録提出、情報交換、ケース検討、今後の対応の検討
 必要に応じてサービス機関等につなぐ

